

第57号

(令和元年5月)

やす町

議会だより

もくじ

- 3月定例会 2
- 特別委員会の報告 5
- 一般質問(11人か質問) 6
- 議案等議決結果 18
- やす・ドリー・ムリレー・トーク 20

未来への挑戦！(自動運転/以走行実験出発式)

議会、議会だよりなどに関するご意見、ご要望をお寄せください。

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641

総合戦略を推進

104億 2200万円

水辺プラザの整備や放課後児童クラブ民間委託など 新規事業が続々

3月定例会は5日～22日まで18日間で行われた。

町長提出議案は46議案、追加の3件と合わせ49議案を可決。陳情は継続審査を含めた5件のうち採択1件、不採択は4件とし発議が2件で決議が1件となった。

一般質問は11人の議員が登壇し熱い議論を交わした。

条例改正

◇鳥取県東部広域行政管理組合の規約の変更

火葬場事業について智頭町からの加入申し出を追加しようとするもの。

反対討論

川西 聡

智頭町議会で「東部行政管理組合の火葬場（運営）に入る」件は最終的には賛成6人、反対4人で可決された。

地元の住民は、自分たちの葬儀場で営みたいとの声が多い。だから反対。

◇八頭町辺地に係る総合計画の変更

平成28年から5年間にわたる総合計画に、町営バスの購入や福祉施設の改修、道路の修繕ため池の漏水対策を追加し、計画を変更しようとするもの。

◇八東保育所条例

安部・八東・丹比保育所を八東保育所とするもの。

◇八頭町放課後児童クラブ施設条例

郡家地域わんぱく、ひまわり児童クラブを、第1・第2わんぱく児童クラブ、ひまわり1組・2組とするもの。

契約

◇麻生道路災害復旧工事（30年災10ノ201）請負契約の締結

○契約金額

5270万円

○契約の相手

八田建設・松田組特定建設工事共同企業体

代表者株式会社八田建設

代表取締役 八田 光義

○工期

2020年3月30日まで

◇町道ホウキ線道路災害復旧工事（30年災第331号）請負変更契約の締結（変更前）

（変更後）

6588万円

（増額）

6806万2680円

（増額）

218万22680円

○契約の相手

岡嶋建設・中田組特定

建設工事共同企業体

代表者 岡嶋建設有限公司

代表取締役 岡嶋 勝宏

○工期

2018年11月30日から

2019年12月27日まで

補正予算

◇平成30年度一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出それぞれ4億511万円を減額し、120億8629万円とするもの。

【主な歳出】

（△は減額を示す）

○財産管理費

380万円

旧大江小学校校舎の施設

改修に係る経費の補正

○空き家対策事業

△192万円

空き家など解体撤去事業

補助金

○移住定住等集落活性化

事業補助金

△563万円

○若桜鉄道対策費

△650万円

○保育所運営費

△459万円

○地域おこし協力隊事業

△1229万円

○除雪機械購入費

△1020万円

◇平成30年度一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出それぞれ1億5264万円を増額し、121億1889万円とするもの。

【主な歳出】

○商工振興総務費

1275万円

○公園整備事業

5676万円

【反対討論】

小原 徹也

旧船岡中学校改修経費は、当初の契約段階で詳細な打ち合わせで盛り込むものだ。補正にあった追加の理由は、今後も見落としや追加の理由に思える。質疑に対し、町長が北岡本店の「連結決算」を理解していないため。

【反対討論】

川西 聡

条件整備をするのであれば、行政側の解釈次第で幾らでも末広がりになる。料理昇降機の備え付

けは北岡本店の責任で行うべきだ。何で気前の良い考えが出てくるのか。何かあるのかと思うので反対する。

【賛成討論】

森 亜紀子

企業誘致は双方メリット、デメリットある。進出する企業にもリスクがある。本町の活性化と産業の起爆剤になればと思う。

当初予算

◇平成31年度一般会計当初予算

予算総額は、104億2200万円。前年度対比で3億4900万円の減額(率にして3.2%の減)。

主な要因は八東保育所新築完了によるもの。

【主な歳出】

○移動防災無線デジタル工事

6145万円

○若桜鉄道対策費

1億5770万円

○電算システム一般管理費

1億8700万円

○保育所運営費

3億1396万円

○旧中私都小学校跡地芝生化事業

5670万円

○ごみ処理費

2億8035万円

○町道森原線改良工事

6200万円

○道の駅維持管理費

5008万円

○八東川水辺プラザ整備事業

9154万円

【反対討論】

坂根 實豊

「廃棄物を資源として循環させるリサイクルを推進するとともに4つのRが定着した環境型社会の形成を図ります」などと。施政方針ながら、説明不足だ。

【反対討論】

小原 徹也

町道森原線、道路整備計画により大江地区公民館の利用者に不便が生じると考える。地域住民が計画を十分理解しているのか。公民館利用者に配慮した計画でない。無計画な辺地債事業に沿う形を強行するのか。

【反対討論】

川西 聡

①消費税の転嫁を前提とした予算措置であり、住民の防波堤にならない。
②放課後児童クラブの運営費は事業委託ではなく行政が行うべきである。
③関西事務所活動事業費(縮小)は職員を増やすべきで、本末転倒だ。

【反対討論】

岡嶋 正広

地方創生推進事業委託料内訳の説明不足及び広留野農道除雪の件は説明が曖昧。町道森原線は、地区公民館利用時の利便性の悪化などが考えられ住民への説明不足のまま計画された事業と考える。よって反対する。

【賛成討論】

森 亜紀子

議論さまざまあるが新年度は目前だ。考えるべきことは町民の生活。議員は町主催の事業についてもっと出かけてチェックする責任がある。速やかな予算執行を望む。



▲ 八頭町の児童クラブを民間へ委託

人事

◆人権擁護委員

推薦に同意した。

○畔田 士生氏（横田）

○林 仁美氏（船岡）

任期2019年7月1日

～2022年6月30日

◆八頭町財産区管理委員

選任に同意した。

○篠波財産区岡 芳継氏

任期2019年3月6日

～2021年9月27日

○安部財産区小林 聡氏

任期2019年3月6日

～2022年12月19日

◆教育委員会委員

任命に同意した。

○大上 澄江氏（下門尾）

任期2019年5月3日

～2023年5月2日



▲ 刷新された隼バイクラッピング列車

平成31年

第1回臨時会

2月12日

財産の貸付

貸付期間は2019年
8月1日から2029年
7月31日までの10年間

◆旧船岡中学校

株式会社北岡本店

代表取締役 北岡 篤氏

有償（月額83000円）

但し5年間は貸付料を免
除する。

【質疑】

通常、貸付契約が完了
してから事業の執行とな
るのではないか。

毎日利用するスクール
バスの通路だが。

【答弁】 吉田町長

議会にも地域でも経過
を説明した。免許の関係
で手続きをしてから4カ
月くらいかかるので前倒
しでの提案。

スクールバスの運行は
契約の中で留意すること

を入れている。様子をみ
て対処する。

【反対討論】 小原 徹也

賃貸借契約を見の中で、
契約内容に大きな不備が
あると考える。今のまま
では、町民に対して不利
益が生じる恐れがあるの
で反対する。

補正予算

◆平成30年度一般会計補
正予算（第7号）

歳入歳出の予算にそれ
ぞれ246万3千円を追
加し、総額124億91
00万円とした。

【主な歳出】

○スクールバスの事故に
よる賠償金

90万円

○知事・県議会議員選挙
の執行に係る関係経費

2197万円

【質疑】

自動車の損害補償賠償
金は保険に入っていたら
保険で対応したらいい。
保険以外に何で町として

90万円も拠出されるのか。

【答弁】 薮田教育長

100%こちらに非が
ある。ぶつかった車の評
価額は26万円だが相手方
はこの車を80万円で購入
している。それに見合う
ものは積み増ししないと
損害賠償ができない。保
険の制度の限界を所有者
の責任で損害賠償する。

【反対討論】 坂根 實豊

80万円で買った車に
100%悪いといって
も、保険に加入してい
て何で本町が90万も支
払うのか。それはだめだ。

指標到達度をチェック！

地方創生事業検証調査特別委員会報告

設置の目的

本町では、少子高齢化や人口の減少が進んでいる。基幹産業である農業の後継者不足など大変厳しい状況だ。

本町においても地方創生事業への取り組みを進めている。人口減少対策、新たな産業の創出、雇用の創出、観光業の振興、農業の担い手の確保など、「八頭町総合戦略」の57事業が実施された。その中で、5事業を調査し、重要業績評価指標（KPI）と、設定（PDCA）サイクルで回した各事業の成果を検証する。

検証対象事業

①サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致の実施によるイノベーション―創造地域の創出

〈成果〉

・入居は14社、新規雇用は20人程度である。

・現在までに110回、参加者人数は約6千人。
・1階のカフェでは、オープン以来の来場者は約3万人。

〈要望〉

・入居は現在14社で満室、その後も入居希望者が数社あった。共通スペースなどを整理して、入居の工夫を考慮してもらいたい。

②農業政策

〈成果〉

・八頭米のブランド化に取り組み、八頭ブランド米「神兎」として、生産、拡販に努めている。

・平成30年からは法人耕作地の調整など営農環境整備が図られた。

〈課題〉

・八東地域の農地集約が今後の課題である。

・若年就農者の育成、樹園地の管理、農家所得の向上など多くの重要課題

があり、課題ごとに明確な対策とKPIを設け取り組む必要がある。

③農福連携事業

〈課題〉

・発想は良いが事業化するのには大変である。事業者任せの感もある。
・作業所などと協調・協働を考えてみる必要があるのではないか。

④地場産業の支援と6次産業化

〈成果〉

・雇用と人の交流の面では「大江ノ郷」の貢献度は大きい。

・農業生産や農産品から加工販売への取り組みが見られることは期待が持てる状況である。

〈課題〉

・「大江ノ郷」の来訪者を活用する方策を検討する必要がある。

・政策目標の地場産業の

育成について具体的な方法を示す必要がある。

⑤空き家活用と移住定住支援

〈成果〉

・鳥取県は暮らしやすい地域のトップであり、本町への移住・定住者もある。

〈課題〉

・今後も空き家は増加すると想定される。空き家の活用のための条件整備やお試し住宅などの、移住希望者への利便性向上に取り組む必要がある。



▲ 14社が入居する隼Lab.

自治功労表彰

自治功労として次のとおり表彰された。

○鳥取県町村議会議長会表彰

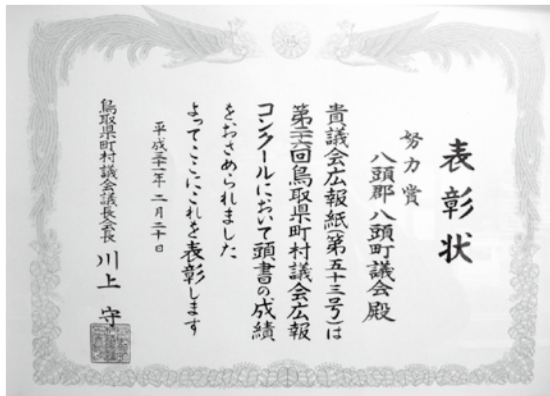
・町村議会議員として13年以上在職し、功労のあった者

下田 敏夫 議員

鳥取県町村議会広報コンクールにおいて次のとおり表彰された。

努力賞 八頭町議会

・対象広報（やず町議会だより第53号）



▲ 広報コンクール努力賞表彰状

11人が一般質問しました。
ここが聞きたい

※質問や町長などの答弁は、質問した議員の原稿に基づき掲載することになっており坂根實豊議員の原稿は未提出であるため掲載していません。

一般質問

テーマ	質問事項	質問者	頁
産業・観光	森林経営管理制度	奥田	7
	農業問題	高橋	8
	観光振興	森	12
	農業後継者問題	栄田	16
	森林経営管理法	坂根	
教育・子育て	子育て世代包括支援センター	奥田	7
	児童虐待防止	中村	13
	中学生議会の八頭町への提案「学力アップ」	栄田	16
福祉・医療	地域福祉推進計画の一部諸課題	岡嶋	9
	町民の健康	中村	13
防災・安全	防災対策の諸点	川西	14
	防災対策	小倉	15

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	地域の環境整備	高橋	8
	予算執行における諸課題	岡嶋	9
	事業計画において住民説明の対応と認識	小原	10
	町有財産にまつわる手続き	小原	10
	一般質問、その後の取り扱いや進捗状況	尾島	11
	一般会計当初予算	森	12
	人権施策	森	12
	自衛官適齢者名簿の閲覧の是非	川西	14
	新年度予算	小倉	15
	平成31年度予算	栄田	16
	横城郡との交流	坂根	



奥田のぶよ 議員

子育て支援

保育所が5カ所になるメリットは

町長/ 同じ保育ができる
特別保育の充実が一番だ



▲ 子育てサークルイベント(大御門トレーニングセンター)

質問

子育て世代包括支援センターについて伺う。
①妊娠期への支援は。
・母子手帳交付の対応は。
・相談体制は。
・就労妊婦への対応は。
②専門職配置は。
③中学校への赤ちゃん登校日などの取り組みは。
④父親への対応は。
⑤未満児入所の現状は。
⑥実施予定アンケートは。

答弁 吉田町長

①保健師が直接面接を行う。委任の場合は訪問などで健康状態を確認している。
相談は関係機関へ紹介や連携を行う。
就労状況を確認し制度の説明をしている。
②3人の保健師が兼務で業務に当たっている。
③可能かどうか学校と協議することから始める。
④適切な対応方法を行う

ている。

⑤0〜2歳児の入所は224人、約40%だ。年々増加傾向にある。
⑥昨年実施した。平成31年度中に計画を策定予定だ。

質問

パパママ学級の開催は。

答弁

吉田町長
内部で話し合いたい。

質問

森林経営管理制度について伺う。
①経営管理意向調査の実施は。
②人材育成は。
③制度の周知、方法は。
④制度を推進する課題は。

答弁

吉田町長

①町内の全森林の状況などを確認した上で意向調査の実施方法、森林所有者不明の森林、調査実施の優先順位など、県や八頭中央森林組合などと協議が必要だ。
②新年度から林野庁から専門職員を受け入れる。地域林政アドバイザー制度も活用する。
③小地区ごとに順次座談会的な形式の説明が必要と考えている。
④細やかな説明会の開催

質問

わかりやすく理解できる本町版の資料作成をしてはどうか。

答弁

吉田町長
わかりやすい資料を検討する。

森林経営管理制度

林業ビジョンの策定は

町長/ 31年度中に
完成したい

農業問題

自治体の果たす役割は

町長/生産性向上に向け支援する



高橋信一郎 議員

【質問】

農業は衰退の一端と誰もが不安視しており、要因は社会全体における農業を取り巻く環境にあるのは間違いない。ところが、的確な情報提供がないことから、需要と供給のアンバランス、引いては所得の向上を阻害している。

町は現状と課題を把握し、地方自治体の果たす役割の所見を問う。

【答弁】

吉田町長

中山間地域で過疎化や高齢化が進み担い手が不足している中、条件の不利な土地が多い。

そこで、農地集積・集落営農組織・農業法人のような経営体を育成し、農業を活性化出来ればと考えている。

【質問】

今、農家が一番困っているのに儲からないという話がある。農家の所得を日当に換算すると、平成26年で5930円となっている。制度云々を言われるが問題の核心はここだ。この軽いアルバイト程度の賃金では誰しも農業なんかやりたくないと思うし、その中心は米価。そこを解決していく方策を考えるべきでは。

【答弁】

吉田町長

米は確かに消費量が少ない。八頭のブランド米「神兔」は、取組んでから2年経った。比較的に良い評価を頂いており、生産面積を増やしていきたいと伺っている。

【質問】

本町は「神兔」のブランド化を更に目指すということだが、今年から県は農協と一体となって「星空舞」のブランド化に取り組むとのこと。これの棲み分けは。

【答弁】

吉田町長

それぞれ特色のある米を作っていけばいいと思う。

【質問】

全国にはこうしたネーミングのブランド商品が800もあると言われている。これは正にブランドバブルのような状況で、もの凄い競争率だ。消費者の米の購入動機はまず価格。次に品種。3番目が産地だ。要は付加価値が問題、ネーミングだけで所得が上がるとは思えないが。

最終的に水稻をやめて果樹・野菜に移行ということだが、農地を守りつつ稲作をしてきた。単価が安いからと言ってそういうことは如何なものか。

【答弁】

吉田町長

※その他の質問
ラジオの不感地域対策
小畑谷の観光資源整備



▲ 山間地域の田園風景



岡嶋 正広 議員

地域福祉推進計画

障がい者相談センター設置に向けての考えは

町長/検討する必要がある

質問

まちづくり委員会未設置地区への今後の対応は。

答弁

吉田町長
未設置地区については最優先課題としており、粘り強く話を進めていくしかないと考えている。

質問

社会福祉費で計上される支援事業委託業者選定について問う。

答弁

吉田町長
事業実施に必要な専門性の有無、業務内容の見積り、事業計画書の提出により、それらを精査し委託業者を決定している。

質問

町営事業としての障がい者相談センター設置に向けての考えは。

答弁

吉田町長
相談窓口ワンストップ化の実現を図るため、相談センター設置体制を検討する必要があると考える。

質問

障がいのある方の移動支援についての考えは。

答弁

吉田町長
定期的通院を必要とし、町内に医療機関がない場合対応を検討する必要があると考える。



▲ 地方創生の起爆剤 観光列車(八頭号)

ホッケー場委託料に見合った成果は

町長/次につながるものであり
成果はあった

質問

町営ホッケー場整備に伴う測量・設計業務委託料について問う。

①委託業務はどういう形式で金額を算出したのか。
②支払われた金額に見合った成果はあったのか。

答弁

吉田町長
①国土交通省土木積算システムにより積算。
②次につながるものであり見合った成果はあった。

質問

若桜鉄道のPRに関する予算について問う。
広報やずでのPRではなく、国の交付金が認められる地方創生推進事業で行うべきではなかろうか。

答弁

吉田町長
交付金は、それはそれで活用している。本町独自で対応する部分もあると考える。

質問

旧中私都小学校跡地の天然芝緑化事業について問う。
芝植付け作業は地域住民の参加で仕上げるという方がいいと思うが。

答弁

吉田町長
みんなで汗をかくことは大事なことで。後の管理も汗をかいていただく一つの方法だと思う。

聞き取り

住民の意見集約は

町長/区長が取りまとめている



小原 徹也 議員

質問

各年齢層の住民に対して意見を伺うには、アンケート方式の調査が良いのでは。

答弁

吉田町長

今まで通りで考えたい。年齢層によるアンケート調査というのはいかなものか。

質問

各年齢層で、働いておられ、なかなか夕方の会合に出られない方、歩きのが不自由な高齢者で、会合の場所に行けない方に配慮してはどうか。

答弁

吉田町長

今のところ、アンケートというところまではないと思っている。

質問

行政と町民との認識確認をするためアンケートで支持率調査してみてもいいか。

答弁

吉田町長

アンケート回収率が非常に悪い今の状況では難しい。



▲ 道路になる予定の駐車場(大江地区公民館)

質問

住民の納得を待ってから、事業審議するのかどうか。

答弁

吉田町長

予算化し、事業を進めるのが、私どもの仕事。

財産管理

町有財産の手続きが不備ではないか

町長/問題ない

質問

賃貸借契約の16条原状回復義務・14条調査などに対し調査を拒み妨げ報告を怠つてはならないとある。この契約に不備があると思うが。

答弁

吉田町長

そういう問題はない。

質問

基本的には、契約は対等であるべき。と言われたが、旧大江小・旧船岡中の家賃は7万5千円と8万3千円だ。家賃収入以上の補修費がかかる。家賃は妥当な金額か。校舎返却時、設備の処分費はどうなっているのか。

答弁

吉田町長

その担保ということは、承知している。

質問

であれば、特約事項と担保の設定が必要では。

答弁

吉田町長

今の契約の中では、その設備の処分費は入っていない。



尾島 勲 議員

一般質問

その後の取り扱いや進捗状況は

町長/ICTを活用したスマート農業の推進を図る 教育長/英語専科教員の配置を考える

質問

過去に行った一般質問の取り扱いや進捗状況は、
①新学習指導要領（外国語教育の手段）。

②若桜鉄道観光化に伴う周辺の環境整備。

③近未来の農業（グローバルGAP・スマート農業の導入）。

④ロコモティブシンドローム予防。

⑤SDGsの導入。

答弁

吉田町長

②各駅のトイレ改修や、駅舎のレトロ化を推進している。

③農家に県補助事業（補助率10/10）の利用促進、県などが実施するGAP研修会の案内を行い、GAPの重要性・制度理解促進を図り、GAPに取組む生産者育成に努めている。

また、全国的な実証実験を参考に、ICT（情報通信技術）を活用した持続可能なスマート農業の推進を図る。

④平成31年度から、参加者が多くなった各体操教室を二部制にし、余裕を持った会場確保に努める。

⑤総合計画の後期計画の策定、第二次八頭町総合戦略の策定に、SDGsの目標を取り入れながら検討する。

答弁

藪田教育長

①外国語は今回の改正で、2020年度から小学校5・6年生で正式教科となる。

来年度、英語専科教員の配置を考える。

⑤先生方にSDGsの理解とともに、現在の教育活動にSDGsの意味づけや学習を広げていくことが課題だ。

質問

Maas（モビリティ・アズ・ア・サービス）交通手段を物としての提供ではなく、サービスとして提供するという概念を提案するが。

答弁

吉田町長

公共交通機関が一つになり、方向性を出す必要がある。

東部圏域一体となり取り組む事業だと思う。未来志向で話をする。

質問

50くらいの自治体で導入実績のあるAIロボットを今後取り入れ、英語教員の補助をさせてはどうか。

答弁

藪田教育長

子どもたちの興味を非常に引き、相当量の効果が見込まれる。

そのようなもの（AIロボット）も狙上し、近い将来実現すると思う。



▲ 観光列車第2弾「八頭号」出発式

一般会計当初予算

ホッケー場の整備は

町長/国体会場として検討し
住民の意見を聞く

森 亜紀子 議員

質問

本町の歳入は自主財源より地方交付税に大きく依存。また町民は今後のホッケー場の整備に関心がある。

①平成31年度の重点は。
②ホッケー場整備の住民の意見はどう集約するか。

答弁

吉田町長

①防災など安心安全な暮らし・子育て世帯の充実。農林業の充実や地方創生の誘致をしたい。会場として検討の上、住民の意見を聞く。

質問

ホッケー場整備の意見の集約方法は。

答弁

藪田教育長

行政懇談会などで意見を伺う。規模も再検討する。

質問

再検討とは11人制か6人制コートか。

答弁

藪田教育長

あくまで11人制コート



▲ 来年1月の完成を待つ(八東駅)

を造るのが最終目標だ。

質問

町民の意見の集約は。

答弁

藪田教育長

協議検討する。

観光振興

町民への情報発信は

町長/丁寧な対応が必要だ

質問

若桜鉄道観光列車「八頭号」が3月2日に出発式、16日に準ラッピング列車も出発した。観光振興・戦略を伺う。

①八東駅の行き違いで運行が増える予定だが運転手の確保は。

②観光列車として戦略は。

③イベント情報や本町の魅力発信の工夫は。

答弁

吉田町長

①八東駅工事は来年1月完成予定だ。ダイヤの変更などはJRと協議検討。
②9月までのツアーはほぼ埋まっている状況。
③HPやFBを中心に幅広く観光情報を発信する。

質問

駅のイメージがしにくい。完成予定図などの検討は。

答弁

吉田町長

考えたい。

質問

運転手や職員増員は。

答弁

吉田町長

ダイヤ決定後、検討する。

質問

町民への観光情報発信は。

答弁

吉田町長

丁寧な対応が必要だ。

※その他の質問

人権施策について



中村 美鈴 議員

児童虐待防止

通告児童数は5年間で2.8倍に増加だが

町長/ 気楽に電話できるような体制づくりを心がける

質問

① 児童虐待数が増加中、本町の相談、通告の状況は。

② 児童相談所の仕組みは。

③ 相談、通告の窓口の状況と通報の方法は。

④ 189番の周知徹底は。

⑤ 生後すぐの虐待防止は。

答弁

吉田町長

① 県東部の平成29年度相談件数は20件だ。市町の数字は公表されない。

② 各都道府県に設置義務があり、児童福祉法に定められている業務などを行っている専門機関だ。

③ 通告先は児童相談所、相談は本町保健課にしてもらいたい。

④ 189（イチハヤク）児童虐待と思ったら、このダイヤルに電話を頂きたい。毎年11月に啓発活動を行い189のリーフレットやボールペンを配布済みだ。

⑤ 医療機関や保健課内にある子育て世代包括支援センターと連携し、産後の訪問も努めている。

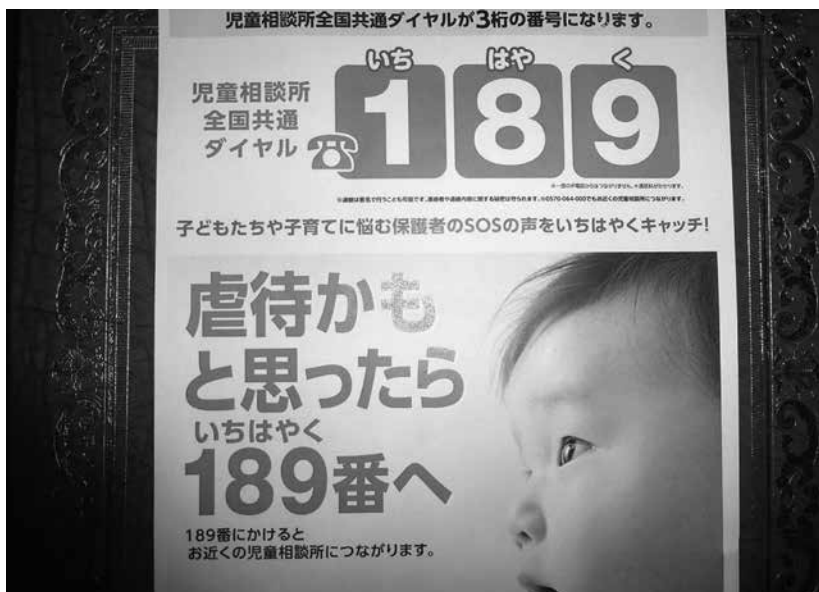
質問

親がしつけとして体罰を与えることはあつてはならないが、見解は。

答弁

吉田町長

その辺りの線引きは難しいが、体罰はよくない。



▲ 全国共通虐待防止ダイヤル(厚生労働省)

町民の健康

環境整備の必要性は

教育長/ 学校調理室でアレルギー対応食を提供済みだ

質問

国民の2人に1人が、花粉症やアトピー性皮膚炎といったアレルギー疾患を抱えている。

① 食物アレルギー児童生徒の過去5年間の人数は。

② アレルギー対策の方法と学校でエビペン使用は。

答弁

吉田町長

① 10年間で約680人、全国では360万人死亡。鳥取県では男性は胃がん、女性乳がんが死亡の4割を占める。

② 50%目標で取り組んでいる。乳がん以外は県平均を上回り検診の受け易い体制づくりで、受診率は上昇傾向だ。75歳未満の人のがん年齢、調整死亡率は3年間で5・1減少した。

質問

2人に1人ががんを発症すると言われる中、研究は進むが、死因のトップはがんだ。

本年度エビペン所持の子は3人で、過去5年間は、使用はない。

防災ラジオ

緊急用に町民への普及検討を

町長/ 現状の個別受信機のまま
継続したい



川西 聡 議員



住民に普及している
防災ラジオ(北秋田市提供)▶

質問

北秋田市は、災害時に緊急情報を住民に確実に伝えるため、平成30年度から防災ラジオを無償で一般家庭に配布。鳥取市も新年度予算の主な事業の中に、地域FMを利用し整備に取り組んでいる。本町は緊急用に検討しては。

答弁

吉田町長
本町は22年度に防災無線のデジタル化を図り、全世帯に個別受信機を配備している。不都合が生じてはいないので送信や受信の装置を整備することなく、現状の個別受信機のまま継続したい。

質問

自衛官適齢者名簿の閲覧の是非は憲法改正も絡み物議を醸している。
①自衛隊法施行令第120条の「市町村に提供を求めることができる」資料は統計資料であり、個人情報ではないと思うが。
②マイナンバー制度の導入で個人情報の取り扱いには極めて慎重な対応が求められる。4情報(氏名・年齢・性別・住所)の閲覧に至る本町の個人情報保護条例に規定する「個人情報保護審査会」の具体的な手続きを問う。
③福岡市は、自衛隊法施行令は努力義務規定で具体性にかけており、個人情報保護条例に抵触すると解釈している。
本町は4情報の閲覧を断るべきだと考えるが。

答弁

吉田町長

①自衛隊法施行令で謳っているのは、自衛官募集に関する必要な資料であり、住民基本台帳の4情報は紛れもない個人情報であり統計資料ではない。
②自衛官適齢者名簿の閲覧は、本町の「個人情報保護審査会」の諮問対象ではないので審査はない。
③住民基本台帳法の規定に基づく国または地方公共団体の閲覧請求は、要件を具備し適法な請求に對してこれを拒むことは出来ないと解している。自衛隊法施行令も同様だ。

質問

大臣の情報提供依頼は、電子か紙の媒体で自衛隊地方協力本部長の依頼とは内容が違う。
個人情報保護法や本町の個人情報保護条例に反

自衛隊4情報

閲覧を断るべきだが

町長/ 請求は拒めない

するから防衛大臣からの依頼を断っている。大本の法令は任意であり、閲覧も断るべきだが。

答弁

吉田町長

自衛隊法に基づく募集は、住民基本台帳法の遂行に必要である場合に該当し4情報の閲覧請求を拒否することは出来ない。



小倉 一博 議員

防災対策

住民の防災意識の浸透は

町長/「支え愛マップ」づくりを進める

質問

近年の自然災害は大型、複合化している。防災対策について伺う。

① 昨年護岸決壊や、上下水道の破壊などが話題となった。防災対策としてのインフラ整備は。

② 地域住民への防災意識の浸透について、今後の方向性は。

③ 地域防災マニュアルの策定について、町長の考えは。

④ 今後の防災訓練の方向性は。

答弁

吉田町長

① 水道管の更新時に耐震性の高いものに交換して耐震化を進めている。下水道施設の長寿命化や施設統合を進めている。

国の防災・減災国土強靱化対策により、新年度より3か年の緊急対策が実施される。

県は河川の河床掘削、伐開を予定。現在河川改修を9か所、急傾斜対策を12か所実施中。

② 地域の「支え愛マップ」を現在24集落が作成済で、支え愛マップ作りを進め

て、防災意識の向上と要支援者と支援者の関係を築きたい。

③ 昨年の7月豪雨の際、関係集落の公民館で自主避難所が開設された。各集落にも参考となるようなマニュアル作成を検討したい。

④ 町内全集落の半数以上が大雨被害の対象になっているので今年は大雨を想定した訓練をする。

自主避難所の開設訓練、土の積みの訓練、安否確認などを計画。大雨被害の想定されていない地域は従来の地震を想定した訓練をしたい。

質問

火災の場合、水利点が遠い集落がある。水利点の確認はできているか。災害となれば役場が頼りとなる。職員の参集基準や役割分担は規定されているか。職員が被災した場合の対応は想定されているか。

答弁

吉田町長

町内の水利点は図面に落としている。確認につ

いては、自警団の世話になつてはいる。

一次配備は防災室で対応する。警報が出たら2次配備で、町長を本部長に主に管理職で対応する。通常業務もあり、職員

の出勤は3次配備からとしている。大規模災害となれば、本町は大山町と、県は徳島県と応援協定を結んでいる。



▲ 普段から消火栓の確認を



栄田 秀之 議員

31年度予算

財政の健全化は

町長/基金を崩さず 予算を組みたい

質問

予算は、1年間の収入の見積もりであると同時に、支出の限度と、内容を制限する拘束力を持っている。行政が住民に情報提供するもので、納めた税金がどのように使われ、効果が住民に還元されるかを判断する基礎になるものである。

①合併算定交付税の縮小の影響は。

②自主財源の比率及び前年対比は。

③経常収支比率及び前年対比は。

④町税及び税収の動向は。

⑤人件費の割合及び前年対比は。

答弁

吉田町長

①前年度より1億3500万円減となった。

②21・1%で2・3ポイント増加。町税増額など。

③93・9%と見込み、4・6ポイント増加。

④前年度より1540万円1・2%の増加。

⑤割合は16・3%前年より1600万円減少。

質問

大きな事業負担のための基金の取り崩しは、理解できるが、安易に取り崩すべきでないのでは。

答弁

吉田町長

基本的には基金は崩さず予算を組みたい。



▲ 新たな農業後継者に期待する果樹園

質問

農業後継者問題

深刻な高齢化の現状は

町長/環境の整備を

農業は今、深刻な高齢化の問題を抱えている。農業人口の6割が65歳以上で35歳未満は5%。平均年齢は68・5歳とも言われている。高齢化の原因が後継者不足だ。

①平坦部においては農地集積、担い手農家の推進が進められているが、山間部においては後継者不足などにより、耕作放棄地が増えている問題、及び果樹についても優良な園が高齢化により、後継者がなく廃園せざるを得ない方向にある。行政の対応は。

②農業人材確保に関して地域の担い手として、外国人材を受け入れるための共生策が、多くの自治体で検討されている。本町の対応は。

答弁

吉田町長

近年山間地は傾斜地が多く、農地区画が小さく大型機械化など条件が不利な地域が多いことから、担い手不足などにより耕作放棄地が増えている現状だ。

鳥獣被害対策や農地維持補助金、果樹優良園維持管理事業など農業収入を増やす環境を整えている。

②今後人手不足が深刻な農林水産業は外国人労働者がさらに増加することが見込まれる。県などと連携を図りながら環境整備を行っていききたい。

※その他の質問

中学生議会の八頭町への提案「学力アップ」について

陳情の審査

○採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
後期高齢者の医療費窓口負担の「原則1割」の継続を求める陳情書	鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一	陳情の趣旨を認めた	意見書提出

○不採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するとつとりの会 共同代表 石田 正義 他2名	県民投票反対70%の民意は尊重するが、八頭町議会の意見書提出はなじまない	
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書	日米地位協定を見直す会 共同代表 難波 希美子	日米地位協定の見直しに相当しないと判断した	
奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	一般財団法人日本熊森協会 会長 室谷 悠子	森林環境税が導入され、新たな森林行政が提案されようとしている。特定の目的による本陳情はなじまない	
消費税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書	鳥取民主商工会 会長 奥田 清治 他 2名	消費税の引き上げは、福祉対策に必要と判断した	



議案等議決結果

(第1回臨時会・第2回定例会)

○賛否の分かれたもの

議案等 番号	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件 名	奥田 のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋 信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	
第1回臨時会															
1	財産の貸付(旧船岡中学校)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
2	平成30年度八頭町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
第2回定例会															
3	麻生道路災害復旧工事(30年災10-201)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
7	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額を定めること	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
8	鳥取県東部広域行政管理組合の規約の変更	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	八頭町辺地に係る総合整備計画の変更	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	可決
11	地域経済牽引事業促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
34	平成31年度八頭町一般会計予算	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	可決
35	平成31年度八頭町国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	平成31年度八頭町上私都財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
45	平成31年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
46	平成31年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
47	平成31年度八頭町篠波財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
48	平成31年度八頭町大江財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
陳情4	沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	×	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	不採択
陳情1	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	不採択
陳情2	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	不採択
陳情4	消費税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択
51	平成30年度八頭町一般会計補正予算(第9号)	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

賛成、同意「○」、反対「×

議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。

○全会一致で可決・同意・採択したもの

議案等 番 号	件 名	議案等 番 号	件 名
第2回定例会			
4	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(その1)	28	平成30年度八頭町住宅資金特別会計補正予算(第2号)
5	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(その2)	29	平成30年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第4号)
6	八頭町財産区管理委員の選任	30	平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第5号)
10	八頭町過疎地域自立促進計画の変更	31	平成30年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第4号)
12	八頭町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正	32	平成30年度八頭町宅地造成特別会計補正予算(第1号)
13	八頭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	33	平成30年度八頭町墓地事業特別会計補正予算(第2号)
14	八頭町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正	36	平成31年度八頭町簡易水道特別会計予算
15	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	37	平成31年度八頭町住宅資金特別会計予算
16	八頭町集落公民館条例の一部改正	38	平成31年度八頭町公共下水道特別会計予算
17	八頭町特別医療費助成条例の一部改正	39	平成31年度八頭町農業集落排水特別会計予算
18	八頭町保育所条例の一部改正	40	平成31年度八頭町介護保険特別会計予算
19	八頭町放課後児童クラブ施設条例の一部改正	41	平成31年度八頭町宅地造成特別会計予算
20	八頭町集会所条例の一部改正	42	平成31年度八頭町墓地事業特別会計予算
21	八頭町国民健康保険条例の一部改正	43	平成31年度八頭町後期高齢者医療特別会計予算
22	八頭町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	陳情3	後期高齢者の医療費窓口負担の「原則1割」の継続を求める陳情書
23	八頭町簡易水道事業給水条例の一部改正	49	教育委員会委員の任命につき同意を求めること
24	八頭町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	50	町道ホウキ線道路災害復旧工事(30年災第331号)請負変更契約の締結
25	平成30年度八頭町一般会計補正予算(第8号)	発議1	八頭町議会傍聴規則の一部改正
26	平成30年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	発議2	後期高齢者の医療費窓口負担の「原則1割」の継続を求める意見書の提出
27	平成30年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第4号)	決議1	現消防体制の組織維持に関する決議

悠久のときの流れ 記念誌「安藤井手史」の刊行

安藤井手研究会 代表 山田 進

二百年の歴史を持つ安藤井手が郡地域の発展に大きく寄与してきたことは、今更言うまでもありません。その歴史を研究するため、故西尾正彦氏を中心に安藤井手研究会（会員約五十名）を発足しました。

伝承の見直しや資料の発掘を行い、昨秋に「安藤井手史」を上梓しました。最近、用水関係者の尽力により安藤井手が農村地域防災減災事業の対象として、工事が進められることになりました。

安藤井手の水の流れは、この地域の人々の営みに寄り添って、次の世代に向かって悠久のときを刻んでいくことでしょう。（なお、研究会は記念誌の発行をもって解散しました）



▲安藤井出研究会のメンバー（前列左端 山田氏）

定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

議会の傍聴をしてみませんか

一般質問は再放送しています

TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索



編集後記

議会は3月定例会で今年度の本町一般会計予算を賛成多数で可決しました。反対討論は4人、賛成討論は1人のみで均衡に欠け低調でした。

昨年12月の「県町村議会広報コンクール」で本町議会は努力賞を受賞しました。審査委員長の講評では「格段に良くなった。文章も簡潔で分かりやすい。一般質問の「網掛け」の濃さも適当。発行日までの日数の半分短縮は大いに評価する」とのこと。これは広報委員会の努力のたまものです。

この57号の発行で、私たち広報常任委員会の任務は終了となります。

今後も「議会広報モニター」の導入と相まって、町民に分かりやすく親しまれる広報づくりを目指したいものです。

(記：川西 聡)

編集委員

委員長	奥田のぶよ
副委員長	小原 徹也
委員	川西 聡
委員	小林 久幸
委員	森 亜紀子
委員	中村 美鈴
委員	尾島 勲